

# 組織的なアプローチⅡ 実践報告

- ・他の人の服を破いてしまうTさんへの支援

社会福祉法人 コロコ学舎 瑞学園  
支援係長 榊原 あす香

# Tさんの基本情報

■ 年齢：50歳	■ 女性	■ I Q 不明	■ 支援区分 5
■ABC-J 31点		■強度行動障害判定表 4点	
■ 診断名： 自閉症		■ 性格：みんなと一緒に活動するのが好き。	
■ 意思疎通： 言葉の意味はだいたい理解しており、要求を言葉で伝えることもできる。 (コミュニケーション) しかし、独り言が続いたり、エコラリアになってしまうことも多いので、本当の意思を伝えられるかどうかはその時の本人状態による。			
■ 余暇： DVDを観る。ビーズ通し、型はめ、模写、シール貼りなどの手作業。			
■ 興味・関心・好きなこと 食べること。行事。外出。			

在宅しながら福祉工房への通所で製品のシール貼りなどの作業に取り組んでいたが、こだわりのものが見えると突進してしまったり、額や花瓶を投げて割ってしまうことがあり、作業が持続できず、ご家庭でもこだわりへの対応が困難となり、19年前に施設入所した。

額や他者の洋服、落ちているごみ(お菓子の袋など)に向かって突進する行動は根強く、現在も継続している。現在も帰省することはできていないが、年に数回スタッフ付添いのもと、ご家族と交流している。

# 課題となっている行動

## 他の人の服を破く

キャラクターもの、動物がついている洋服や、ほつれ・小さく穴の開いた洋服を狙って破く。



## ポスターや本棚の本を破く

施設内に掲示しているポスターや、本棚にある書籍、雑誌を破く。

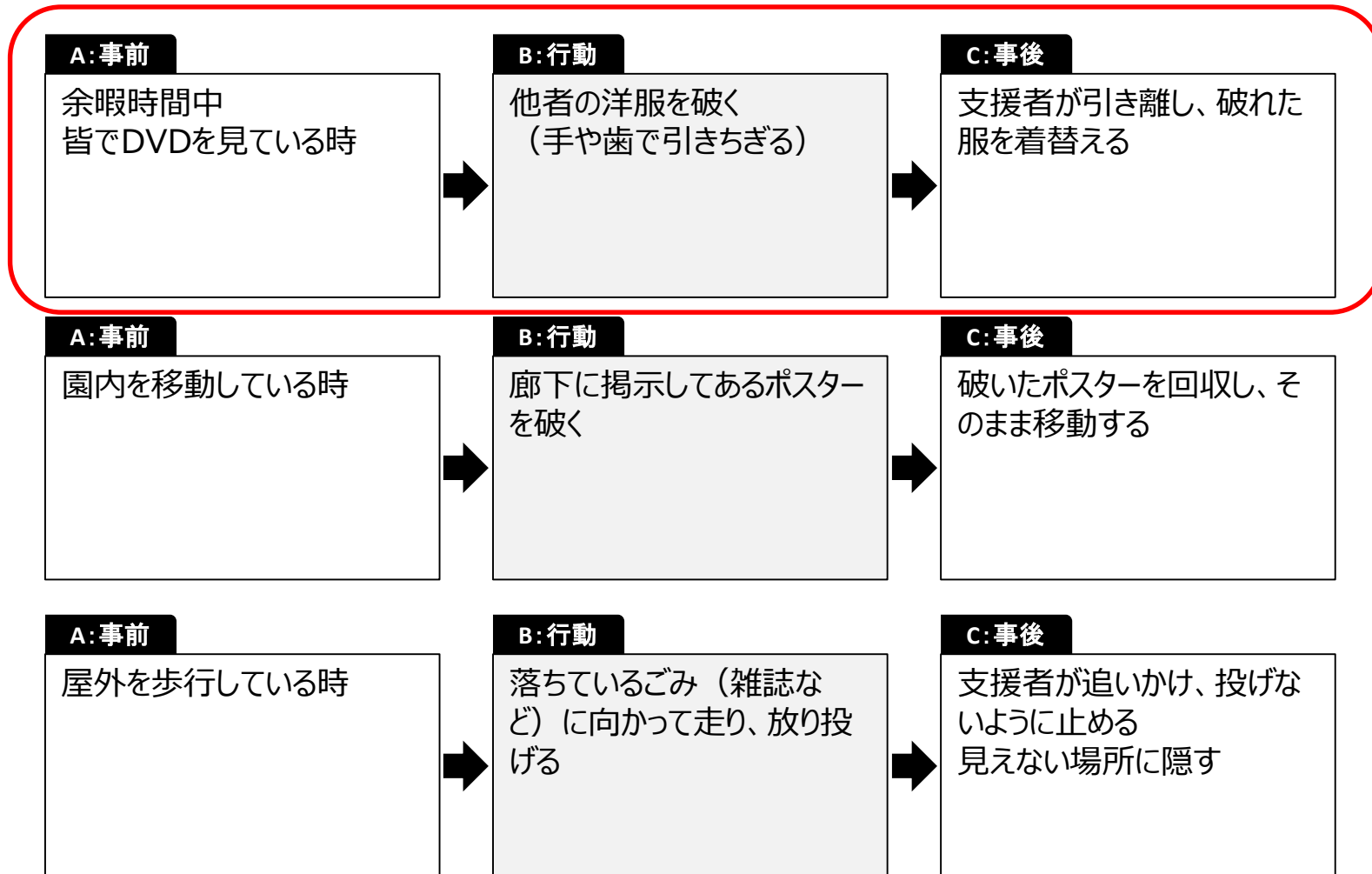
## 落ちているごみに突進し、投げ捨てる

道に落ちている雑誌、お菓子やパンの袋などにこだわる



こだわりのものを見つけると突進して手や歯を使って引きちぎる。  
引きちぎれないものは投げ捨てる。  
折り畳みケータイは反対側に折って壊していた。

# 課題となっている行動の観察



# 「服破き」の観察(スキャッタープロット記録)

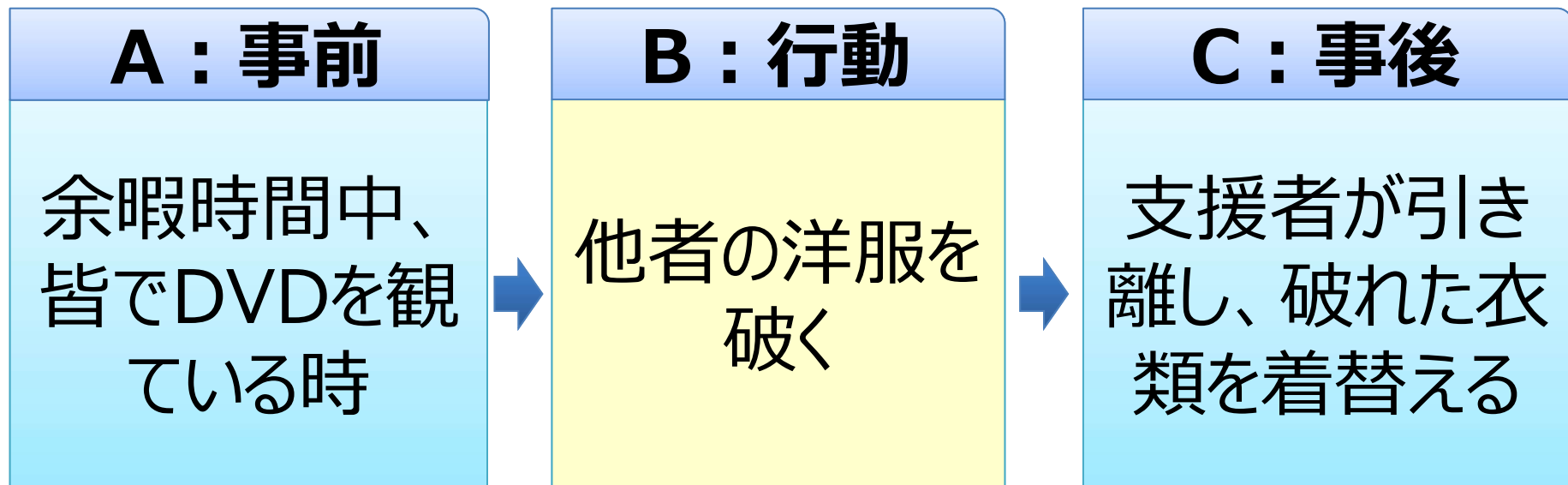
 ①服破き  ②未遂

	9/24	9/25	9/26	9/27	9/28	9/29	9/30
7:00							
8:00							
9:00							
10:00							
11:00							
12:00				②	②		
13:00	①						
14:00							
15:00							
16:00		②			②		
17:00	②			①			
18:00							
19:00							
20:00							
21:00							

# ストラテジーシートの作成

ストラテジーシート		
<b>A: 事前</b> いつ、どこで、誰と、何をしているとき？ 生じないときがあれば赤字で記入	<b>B: 行動</b> 具体的に記入	<b>C: 事後</b> <input type="checkbox"/> 要求 <input type="checkbox"/> 注目 <input type="checkbox"/> 阻止回避 <input type="checkbox"/> 自動強化 <input type="checkbox"/> その他
<hr/>		
<b>事前の工夫</b> <input type="checkbox"/> 起こらなくてすむために <input type="checkbox"/> 望ましい行動が起こるために	<b>望ましい行動</b> <input type="checkbox"/> 指示に従うスキル <input type="checkbox"/> コミュニケーションスキル <input type="checkbox"/> 余暇スキル <input type="checkbox"/> その他	<b>強化の手立て</b> <input type="checkbox"/> ほめことば <input type="checkbox"/> ごほうび <input type="checkbox"/> 好きな活動 <input type="checkbox"/> トークンシステム <input type="checkbox"/> その他
	<b>それでも困った行動が生じた場合</b>	<b>起こってしまったときの対応</b> <input type="checkbox"/> 成功に導く手立て <input type="checkbox"/> クールダウンの手立て

# ABC分析



他者の服を破く行動の機能とは・・・  
「阻止回避」？「自動強化」？「反射」？

# 余暇時間中のTさんの様子

## A : 事前

余暇時間中、  
皆でDVDを観  
ている時

- 目をつむっている
- 独り言を言っている
- きょろきょろ周りを見回している



Tさんにとって、「DVDを観る時間」ではない？



# 特性との比較

## 社会性の特性

- 周囲で起こっていることへの関心が薄い
- 期待されている行動がわからない

## 想像力の特性

- 興味関心が狭くて強い
- 今やることを想像できない

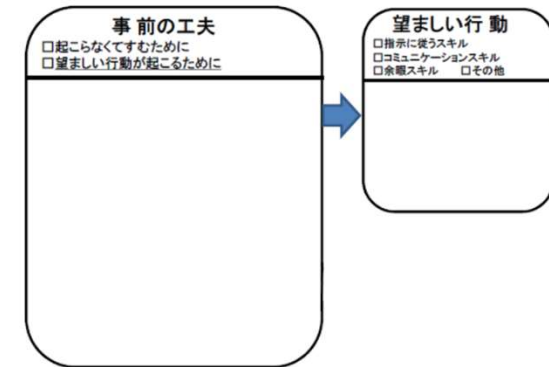
**ミスマッチ**

## 環境(余暇中に皆でDVD鑑賞)

- 周囲に気になる洋服を着てる人がいる
- 興味のないDVDの内容

特性に配慮した環境の  
調整(事前の工夫)

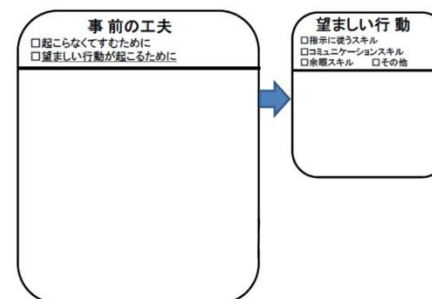
# 事前の工夫（環境調整）



起こらなくてすむために・・・

- 気になりそうな洋服の利用者の配置を確認し、目に入りにくいところに座ってもらう
- DVD余暇をやめて、ほかに集中できるものを提示する

# 望ましい行動



皆と一緒にの空間でビーズ通しやシール貼り等の手作業をして余暇時間を過ごす

Tさんの得意なこと  
(強み)

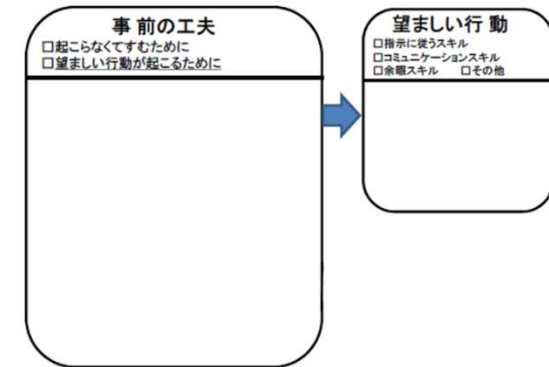
- ・ビーズ通し
- ・シール貼り など



実施しやすさ

- ・誰でもできる
- ・みんなと同じ空間  
でできる

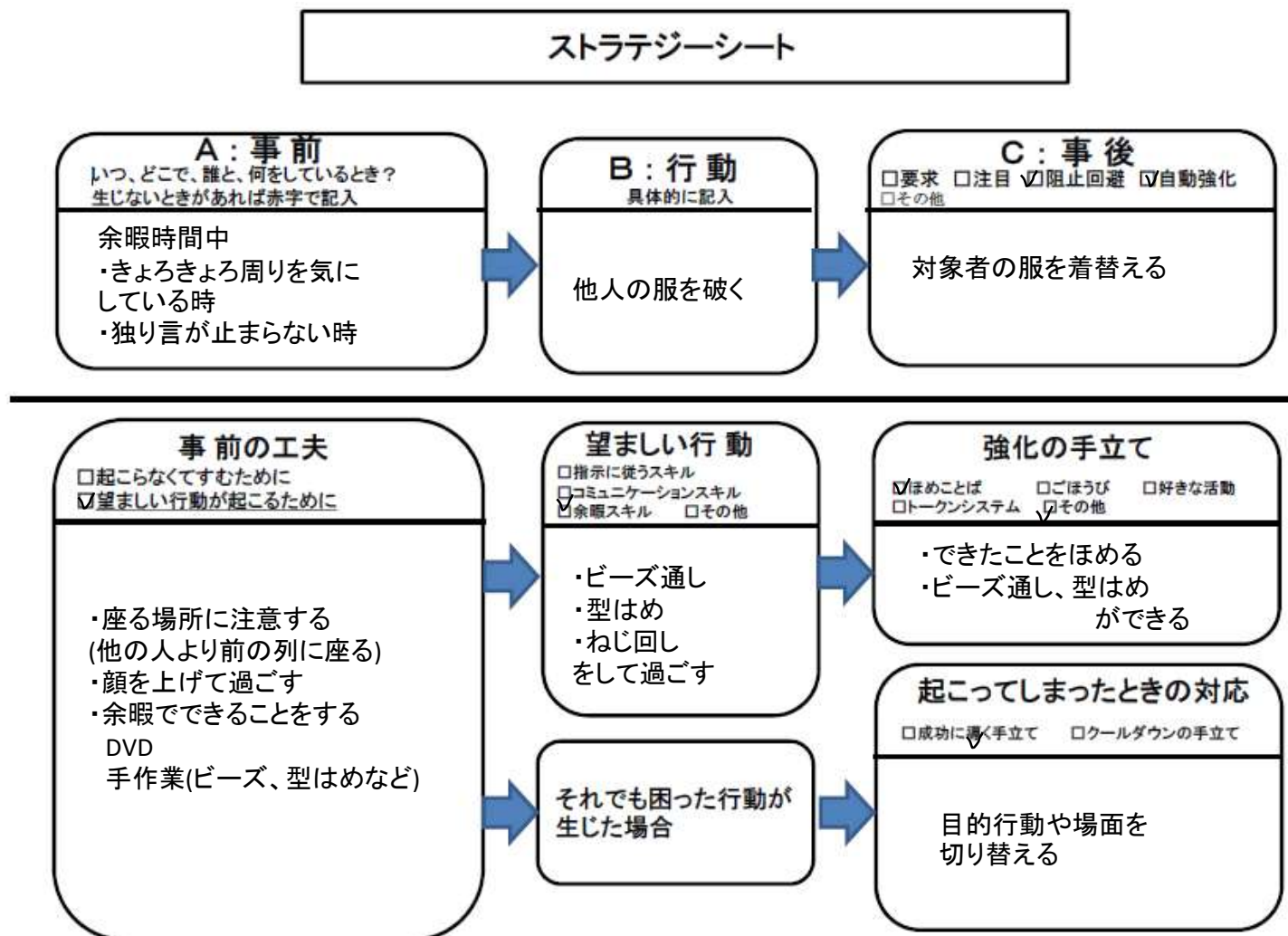
# 事前の工夫と対応



望ましい行動が起こるために・・・

- 気になりそうな洋服の利用者の配置を確認し、目に入りにくいところに座ってもらう
- 集団がDVDを観ているときも手元にビーズなどの道具を用意する
- 手が止まりそうなタイミングで声をかけたり、手元を指さして持続できるようにする
- 独り言を言わずに集中して取り組んでいるかチェックする

# ストラテジーシート



# 実施に向けて

## ミーティングの開催

- 取り組み内容の周知(準備担当も決める)
- 注意するポイントの共有
- 記録の徹底
- 起こった場面や狙った様子があった時には、現場のスタッフ間ですぐに引き継ぐことを再度確認

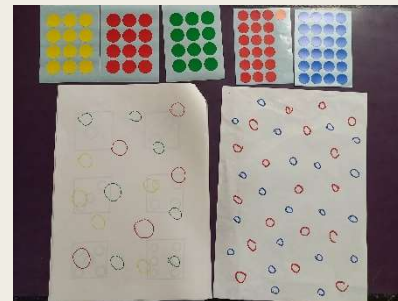
## 道具の準備



ねじ回し



ビーズ通し



シール貼り

様々な大きさを用意し、徐々に難易度を上げて提示する。

# 実施の様子

- 集団の中で、少人数で手作業をする
- 目の前に課題をおき、見守りをする



- 毎日続けることができた
- 着席したまま過ごすことはできる
- 作業中にも独り言を言ったり、手が止まってしまう事がある

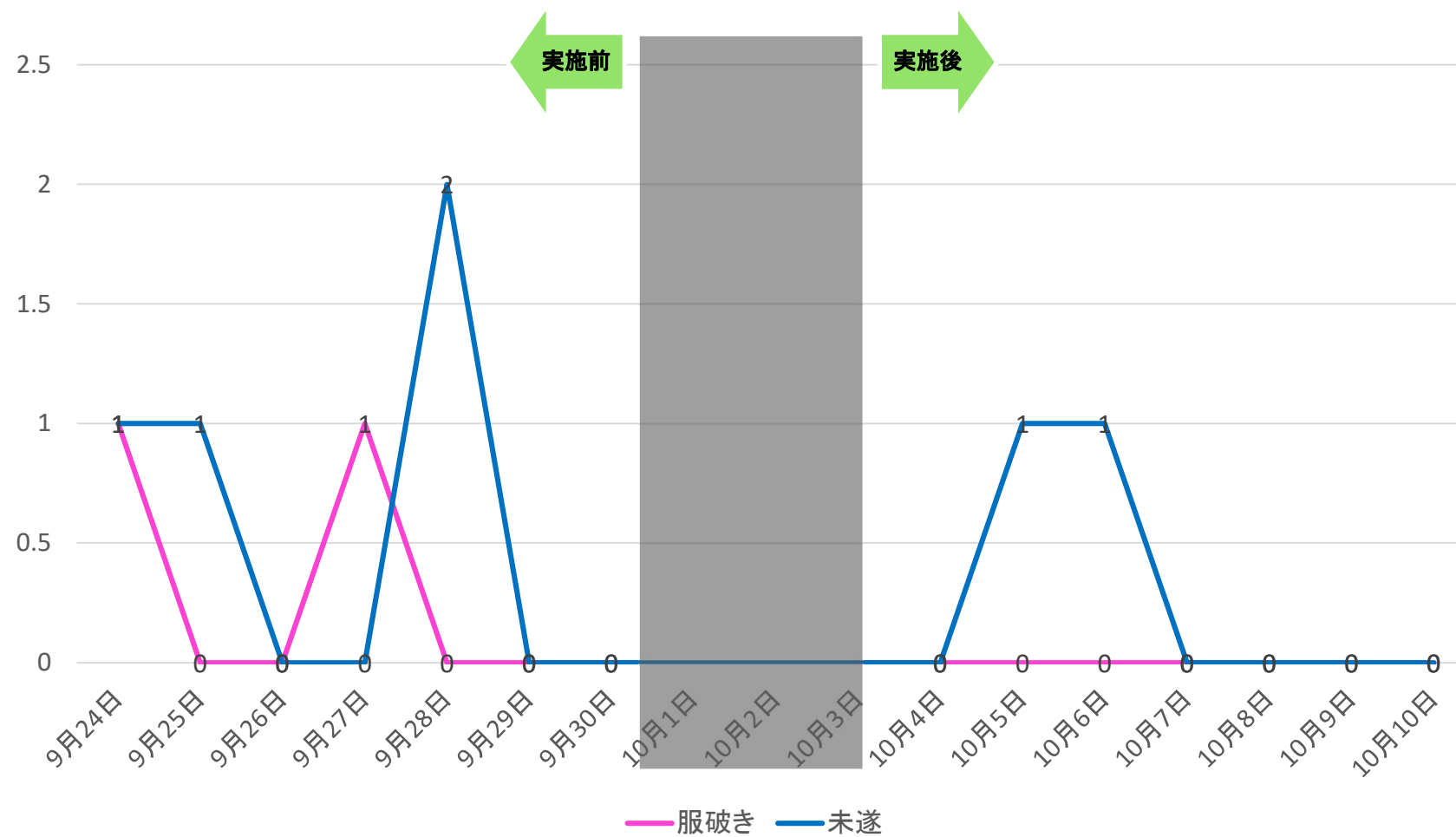
# 実施した結果（スキッタープロット）

① 服破き      ② 未遂

	10/4	10/5	10/6	10/7	10/8	10/9	10/10
7:00							
8:00							
9:00							
10:00							
11:00							
12:00							
13:00							
14:00							
15:00							
16:00		②					
17:00			②				
18:00							
19:00							
20:00							
21:00							



# 行動記録の変化



# まとめ① Tさんの様子

## 良かったこと

- いつもと違う余暇の過ごし方を提供し、集中できる別の目的行動をとることができた。
- スタッフが注意深くTさんを観察するようになり、余暇時間以外でもTさん自身が他者を意識して過ごせる時間が増えた。
- 移動中や外出中もスタッフが意識していれば、走って破きに行く様子が減った。

## 課題点

- 周期的に問題行動が出やすい時期と、穏やかに過ごせる日が繰り返されている。
- 独り言があり、こちらの声掛けに対して正しいコミュニケーションが取れない時や、こだわりのものの名前を要求することがまた増えてきている。
- 特に強化子がなくても、余暇時間の手作業は持続できるので、あまり増やさずに取り組んでいく。
- 塗り絵や書字など紙を使った課題は、紙を破いてしまうことがあるので、付き添いながら徐々にならできるように取り組んでいきたい。

## まとめ② チーム支援について

### 良かったこと

- 注意深く観察していく中で、予兆の段階で気にしているものが見えにくいように移動したり、早めに環境調整ができるようになった。
- 記録をつけていくことで、普段は見逃されがちな行動も引き継ぎで挙がるようになった。
- 改善されることが実感できると、積極的に実践しようという雰囲気になった。

### 課題点

- 普段と違う記録形式では浸透せず、自分一人で形式にはめて記録することになった。
- 全員で話し合う機会が作れず、実践の結果のフィードバックまでではできなかった。
- 事後の対応に関する共通認識を持つことが難しかった。

## まとめ③ 感想

- 統一した支援を行うためには、分析に基づいた支援方法の共有が必要
- ABC分析やスキッタープロットで場面を絞って取り組むことで、チームで実施することができた
- 皆で記録を取ることで結果がわかりやすく、モチベーションを維持できた